



みんなの思いを込めて

1970年代初頭に建設され、40年以上の月日とともに過ごしてきた住人もいる芝五丁目アパート。多くの集合住宅と同様に高齢化が進んでいる中、孤立死などを防ごうという意識が高まり、昨年4月にほほえみサロンの活動がスタートしました。

サロン名は立ち上げに参加した住人たちでいろいろ考え、「いつもほほえんでいられますように」という思いを込めてつけました。



取材した日は、お坊さんや神主さんたちが運営する傾聴喫茶「東京カフェデモンク」の方々が来て話をしました



皆さんと数珠づくり
アクセサリのようにきれいな出来栄え！

親しくなる大切な場所

「今まで顔は知っていたけど、話をしたことがなかったという住人同士が親しくなっています」と話す代表者の鶴田さん。参加者からも「何十年も住んでいるけど知らない人も少なくなかったのよ。だけどこのサロンがきっかけで、あいさつできる間柄になってうれしいわ」との感想がありました。

ほかの地域でも、「地域のつながりが大切なのはわかるけど、いきなり『お隣さんと仲良くなりましょう』というのは難しい…」という声をときどき聞きますが、ほほえみサロンのように、ご近所同士が楽しみながら親しくなる活動が、地域とつながる有効な方法かもしれません。

人のうわさや悪口は言わない

主に毎週第三土曜日の午後に活動があり、集会室は賑わいを見せます。サロンでは、同じ棟の住人たちによる茶話会などの交流とともに、ものづくりや講座、レクリエーション、季節行事なども行われます。茶話会は情報交換の場にもなっていて、「オススメの病院を教えてもらって助かった」という人もいました。

また、活動を始めるとあって、みんなで「人のうわさや悪口は言わない」というルールを決めたことも、サロンの居心地の良さにつながっているようです。



茶話会&情報交換
皆さんと楽しい
時間を過ごします

